

次代を担う産業育成対策特別委員会記録

<p>1 会議の日時</p>	<p>平成31年2月28日</p> <p>開 会 午後 0時58分</p> <p>閉 会 午後 1時20分</p>	
<p>2 会議の場所</p>	<p>企画経済委員会室</p>	
<p>3 出席者</p>	<p>委 員</p>	<p>委員長 岩井 豊太郎 副委員長 佐藤 武彦          委員 玉田 和浩 渡辺 嘉山 水野 正敏          小原 尚 田中 勝士 高殿 尚          国枝 慎太郎 恩田 佳幸</p>
	<p>執 行 部</p>	<p>別紙配席図のとおり</p>
<p>4 事務局職員</p>	<p>課長補佐 此島 祐司          係 長 市川 圭司</p>	

5 会議に付した案件

件名	審査の結果
1. 最終報告について  2. その他	原案のとおり承認

## 6 議事録（要点筆記）

### ○岩井豊太郎委員長

ただいまから、次代を担う産業育成対策特別委員会を開会する。本日の委員会は、最終報告となる提言について協議するため、開催したものである。

当委員会は、所管する特定分野の中から、テーマを絞り込んだうえで調査検討を行い、2年を目途に、委員会として、一定の提言を行うことを目指してきた。提言は、委員会の調査結果に基づくものであり、本会議における最終報告は、提言の内容を抜粋して行いたい。

本日ご協議いただく提言案については、あらかじめ配布したとおりであるが、何かご意見はあるか。

（発言する者なし）

### ○岩井豊太郎委員長

意見もないようなので、提言書の案のとおり提言してよろしいか。

（「異議なし」の声あり）

### ○岩井豊太郎委員長

異議がないようなので、そのように決定する。本会議における最終報告は、提言の内容を抜粋して行い、その文案については、正副委員長にご一任願いたい、これにご異議ないか。

（「異議なし」の声あり）

### ○岩井豊太郎委員長

異議がないようなので、そのように決定する。なお、本会議において、最終報告が承認されたうちは、閉会后、知事に対して提言を行いたいのでご承知おき願う。

議題については以上であるが、せっかくの機会であるので、委員の皆さんに、当委員会の2年間の活動について、感想を一言ずつ、お聞きする。

### ○渡辺嘉山委員

建設業の方から「企業誘致では雇用先は生まれるが、地元企業へ人が来ない」との声を受けたことがあり、地場産業を大事にしないといけない。特別委員会は部局横断の委員会であり、今後とも地場産業も含めた幅広いテーマを取り上げていただきたい。

### ○小原尚委員

委員会に参加して、工業だけでなく、農業など県内全ての産業に対して、次の世代へのつなぎ方、発展のさせ方を学ぶことができてよかった。

九州や四国へ視察する中で、今治タオルのように廃業寸前から再建を果たした例など様々な成功例を知り、陶磁器や刃物などの地場産業も、やり方次第で強い産業に育て上げられると勉強になった。

### ○高殿尚委員

委員会を通じて、特に、生産性向上対策という「プラン」と、人材育成という「教育」の部分は、次代を担う産業の推進には、今後も必須のテーマであると改めて認識した。

「観光立県」「人を呼び込む」「おもてなし」という点から、観光業などのサービス業も、次代を担う産業の一角に加えていただきたい。具体的には、高山市では、ここ2年間でホテルが10軒、ベッドが1,

000床増えたが、それに対応する人手が足りない状況であり、新たなプランや外国人労働者の活用など、次の展開を考えなければならない。

○恩田佳幸委員

県内外の先進的な取組みを視察でき、大変参考になったが、中小企業の中には、支援制度があっても、そのような取組みに踏み出せない方もいるので、そのような方への支援ができたかと考えている。

○国枝慎太郎委員

本委員会での愛知県立愛知総合工科高等学校への視察が衝撃的であった。これからの担う人材を育成していく上で、大垣市にI AMASがあるが、「特化した教育の充実」が大きな課題と改めて感じた。

○田中勝士委員

例えばスマート農業を議論するにしても、現場を見ることや、直接話を聞くことにより、モノの見方が大きく変わる。本委員会は参考人招致や視察が多く、県の施策を見るうえでも、とても参考となり勉強となった。次期以降もこのスタイルでぜひお願いしたい。

○水野正敏委員

参考人招致や視察が多いという委員会の運営は新鮮に感じた。次代を担う産業として魅力ある産業構成になることが岐阜県の将来につながるため、この2年間に勉強したことを活かしていきたい。

○玉田和浩委員

岐阜県は内陸県であり大企業がほぼない。一方、空気や水が良く、安心・安全との観点から住みやすいとの統計結果が出ている。

これまでは働く場が少なく定住が進まなかったが、東海環状自動車道東回りの開通により、約150社、3万人の雇用が発生し、これにより若者が増え、県内地場産業の活性化につながった。今後、西回りの開通による中小企業の活性化を期待したい。特に、IT等を活用した先端企業が立地することで地元企業の機能の向上につながると良いと思う。県がIoTやAIの活用についてしっかり予算措置したことも、大変よかったと思っている。

○佐藤武彦副委員長

岐阜県は内陸県でモノづくりのしっかりとした県だと思っているが、生産年齢人口が減少する中で生き残るには、生産性向上が一番のポイントと考えている。現在は、IoT、AI、農業ではスマート農業、建設業では3D設計などの導入が始まる段階と思っているため、県では予算をしっかりと措置し、他県の先を行く対策により、県の強みを生かしてもらいたい。

○岩井豊太郎委員長

現場を見るのが一番大事との考えにより、委員長として進めてきた。視察の準備などをしてくれた事務局へお礼を言うとともに、委員の皆さんと一緒にできてよかった。執行部の方にもお礼を言いたい。

○井川商工労働部長

普段、他県の企業を訪問する機会がなく、県内外の状況が見れて大変参考になった。今後活かしてまいりたい。

○岩井豊太郎委員長

これをもって、本日の委員会を閉会する。

## 次代を担う産業育成対策特別委員会 配席図

平成31年2月28日(木) 13:00～  
企画経済委員会室

		伊藤 森林整備課 森林経営対策監	大橋 農政課 技術総括監	高木 農業経営課 担い手対策室長	城戸 協働雇用課 人材育成企画監	溝口 産業人材課 人材確保対策監		
高橋 教育総務課 教育主管	村田 公共建築課 設備管理監	高井 県産材流通課長	中根 恵みの森づくり推進課長	森 畜産課長	小木曾 産業技術課 IT利用促進室長	大野 産業技術課 研究開発企画監	郷 新産業・エネルギー振興課成長 産業企画監兼航空宇宙産業課航 空宇宙産業連携監	浦崎 地域産業課東京オリンピック・パ リンピック県産品活用促進対策監兼 県産品流通支援室長
古賀 学校支援課長	林 技術検査課長	土屋 農産園芸課長	足立 農業経営課長	小野寺 農政課長	森 産業人材課長	渡辺 新産業・エネルギー 振興課長	永瀬 企業誘致課長	太田 商業・金融課 経営支援対策監
桑田 海外戦略推進課長	尾関 観光企画課長	兼松 航空宇宙産業課長	板津 商工政策課長	井川 商工労働部長	増田 商工労働部次長 (産業人材担当)	梅村 産業技術課長	前田 地域産業課長	大城戸 労働雇用課長

恩田委員  
高殿委員  
小原委員  
渡辺委員

○
○
○
○

国枝委員  
田中委員  
水野(正)委員  
玉田委員

○	○
---	---

佐藤副委員長

岩井委員長